

1. 別名

青酸ガス 青化水素

2. 性質

気体 無色 特異な微臭（アーモンド臭）

分子量； 27.03 比重； 0.688

蒸気密度； 0.93 沸点； 25.7

蒸気圧； 82.6kPa 下部引火点； < - 20

爆発範囲； 5.6～40% 発火温度； 538

溶解性； 易（ ）

許容濃度； 日本5ppm 米国4.7ppm (STEL 天井値)

管理濃度； 3ppm

3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 揮発性液体で、空気と爆発性混合ガスをつくる。特に水分20 %以上またはアルカリが混入すると爆発が促進される。

人体への影響； 猛毒で、ガス吸入のほか皮膚からも吸収される。急性中毒では頭痛・めまい・耳なり・嘔吐などを示し、ひどければ意識消失し死亡する。慢性中毒では、頭痛・脱力感などの症状を示す。

濃度と作用

濃度 [ppm]	作用
18～36	数時間後に軽い症状
45～54	0.5～1時間は耐えられる
110～125	0.5～1時間で生命危険または致死
270	直ちに致死

4. 他の分析方法

吸光光度法（ピリジン - ピラゾロン法），
イオン電極法〔NIOSH〕

5. 用途及び発生場所

アクリロニトリル・シアンヒドリン・アクリル酸等有機成品原料，青化ソーダ・青酸カリの製造，蛍光染料顔料，農薬・殺そ剤原料，冶金用，鋳業用，船内，建築物，食品などの消毒，溶鋳炉，ガス製造所，コークス炉，シアン塩類の取扱い場所などで発生することがある。

6. 関係法令

安衛令（危険物），特化則（特定第2類），毒劇法（劇物），大気法，水質法，消防法（危険物第4類第1石油類）高圧法（可燃性ガス，毒性ガス），車両法（高圧ガス），危険物船送則（毒物），IMDGコード・クラス6-1

7. 検知管の適用